

会 議 録

会議名称	令和6年度 第2回 大空町廃棄物減量等推進審議会	
開催日時	令和6年11月26日(火)	午後2時00分から 午後2時55分まで
開催場所	大空町役場 3階1号会議室	
出席者の氏名	坂本 一光 委員 菅野 宏治 委員 藤本 京一 委員 北野 清 委員 竹内 幸次 委員 岩原 繁 委員 藤田理也子 委員 大槻 晶子 委員 近藤 慶子 委員 嶋崎 武 委員 副町長 鈴木 章夫 事務局：砂金 英樹 住民課長 山本 晃 住民福祉課長 佐藤 貴宣 住民課住民グループ主幹 須磨 文太 住民福祉課住民グループ主事 小椋 聖 住民課住民グループ主事補	
傍聴者の数	なし	
会議資料の名称	・令和6年度第2回大空町廃棄物減量等推進審議会議案 ・資料 大空町の廃棄物処理	
審議内容及び結果	【審議会内容】 (1) 役員の選出(会長・副会長) (2) 大空町の廃棄物処理について ・廃棄物の処理状況 ・令和7年4月からのごみ処理手数料 ・広域の廃棄物中間処理施設の検討状況	

【審議結果】

(1) 会長・副会長の選出

会長に坂本一光委員、副会長に菅野宏治委員が選任された。

(2) は報告事項

事務局から、資料に基づき説明

<審議会顛末>

1 開 会

2 委嘱状交付（副町長）

副町長あいさつ

3 議 事

(1) 役員選出について

〔事務局〕役員選出について、どのように決めたらよいかお諮りしたい。何か案はあるか。

(委員から「事務局案があれば」との声あり。)

〔事務局〕事務局案でとのご意見があったので、事務局案を提示したいがよろしいか。

(一同意義無し)

〔事務局〕それでは、事務局案を提示させていただく。会長に坂本一光委員、副会長に菅野宏治委員の案を提示したい。よろしいか。

(一同異議なし)

〔事務局〕それでは会長に坂本一光委員、副会長に菅野宏治委員を選出することとする。会長、副会長は、前の席に移動願う。

〔事務局〕代表して坂本会長より就任のご挨拶をいただいたのち、会長が議長となり、議長の進行で議事を進めていただきたい。

〔会長〕(就任の挨拶)

〔会長〕それでは議事を進める。議案(1)廃棄物減量等推進審議会の主旨について、事務局から

説明を願う。

〔事務局〕（議案により主旨説明）

〔会長〕議案（１）について、意見・質問はあるか。
（意見・質問なし）

（２）大空町の廃棄物処理について

〔会長〕無いようなので、次に進む。議案（２）大空町の廃棄物処理について、事務局から説明を願う。

〔事務局〕（資料により説明）

〔会長〕議案（２）について、意見・質問はあるか。

〔委員〕令和４年から５年にかけて、リサイクル率が低下したのはなぜか。

〔事務局〕一番大きな理由として考えているのは、令和５年の冬にリサイクルセンターのペットボトル・プラスチックの減容器の故障がある。ベールの搬出処理が行えなかったため、リサイクルに反映していない。正確に何％影響しているとは言えないが、一番大きな理由であると考えている。

〔会長〕他に意見・質問はあるか。

〔委員〕ごみ処理手数料について、経費の３０％とするように言っていたが、現在は何％であるのか。毎年多額の修繕料が掛かっていると聞いたが、修繕料も経費に含まれるため、３０％に到達することは難しいのではないのか。

〔事務局〕想定より多額の修繕が出てしまったため、令和３、４年度と比較して１，０００万円ほど経費が増加している。そのため割合が減少しており、令和４年が２０．３％、令和５年度が１９％程となっている。

〔委員〕ごみ袋について、令和４年１０月に更新と

なったが、それまでに使用していたごみ袋も今回の更新時期に交換することはできるのか。

〔事務局〕金券と同様なため、交換に応じる事としたい。

〔会長〕他に意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

（３）その他

〔会長〕その他として事務局から何かあるか。

〔事務局〕広域化での廃棄物の中間処理施設整備について、以前からも検討状況を報告し、意見をいただいていた。今後もよろしくお願ひしたい。

また、今後し尿の処理手数料の見直しについて審議の可能性や、管理が行き届いていない空き家の対応について、相談や意見を頂戴したいと思っている。

その他、今朝の新聞記事について、詳細を説明させていただく。

ごみ処理建設地に産廃という見出しになっているが、建設予定地は旧東藻琴村時代から残土捨て場として活用している。そのため、コンクリート片などのごみが混入してしまったものと推測しており、敢えてごみを捨てていたわけではないと考えている。

ここまでの経過としては、中間処理施設の建設予定地で地質調査を行ったところ、コンクリート片やビニール片が見つかった。そのため、急遽試掘調査を８か所実施した。

その際にそれぞれの場所から、コンクリート片、ビニール片の廃棄物が出てきた。試掘調査にはオホーツク振興局の職員も立ち会い、現在

北海道からの見解を待っているところである。

発掘されたごみが産業廃棄物になるのか、不法投棄廃棄物になるのか、混合ごみに値するのかも含めて見解を待っている状況であり、処理方法についても指示を待っている。

また、ごみの他にもう一問題があり、地山に対して、埋めた土が急斜面となっており、土砂崩れの恐れがある勾配となっている。そのため、国で定める安全基準を満たしていないという事が発覚した。補強工事を伴うのか、また、廃棄物の処理に経費と時間がどれほど掛かるのか等は、今一度1市5町での検討を行う必要がある。

そのため、資料に掲載しているスケジュール予定から変更する可能性が生じている。今後の方針については今段階では何も決まっていないため、方針が決まり次第皆様と町民に説明することとしている。以上である。

〔会長〕（3）その他について、意見・質問はあるか。

〔委員〕東藻琴で建設自体に反対運動が起こっていると聞いたが、このことについて、どのように対応していくのか。

〔事務局〕本来であれば、住民説明会を重ねて理解を深めていきたいと考えているが、このような状況となっているため、一時中断となっている。今後についても理解を頂かなくてはならないと考えている。説明会を行うだけでなく、色々な施設を紹介する等様々な方法で理解を頂きたいと考えている。

〔委員〕住民説明会に係る質疑応答の資料がある。これを見ればどのように対応するか分かるという事でいいのか。

〔事務局〕 令和6年7月、8月、及び10月に開催した住民説明会の質疑応答をまとめたものを配布しているため、確認いただきたい。

〔会長〕 他に意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

〔会長〕 無いようなので以上をもって令和6年度第2回廃棄物減量等推進審議会を閉じる。

【閉会 午後2時55分】